

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	105
------	-----

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒を育成 ・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成 ・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成
評価する領域・分野 教育活動・学習活動	<p>渉外（※番号は学校評価のアンケート項目）</p> <p>5：学校の教育方針や指導の内容をホームページや通信を通して保護者（地域）へ分かりやすく伝えている。</p> <p>6：学校は、児童生徒の様子などについて、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なっている。</p>
現状及びアンケートの結果分析等	<p>5：あてはまる87% あてはまらない6% わからない7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや通信での発信が定期的に行われている。 ・通信や、授業参観の時に、単元や授業のねらい、どのような姿を目指しているのかを伝える機会を増やすとよいか。 <p>6：あてはまる96% あてはまらない4% わからない1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の連絡帳や、こまめに電話やラインでの連絡が行われている。 ・行事や参観等来校できる機会が増えている。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動全般の企画・運営が円滑に行われるよう、学校と保護者の連携を密にとり相互理解を深める。 ・PTA活動及び同窓会活動の理解を深めるため、広報活動の工夫をする。 ・地域、関係諸団体及び関係諸機関との連携を図り、それぞれの運営に参加・協力する。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動ごとに担当職員を置き、保護者と連絡を取りながら活動を推進する。 ・PTAだよりや学校ホームページでPTAや同窓会で実施する事業について掲載する。
目標の達成に必要な具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAだよりやホームページで活動内容などの情報を発信する。 ・PTA実行委員会と連携を取って活動内容や方法を考え、役員が意欲的に活動できるように支援をする。 ・同窓会後援会役員と連携を取り、同窓会だよりの発行および同窓会役員会、同窓会総会、同窓会の企画運営がスムーズに行えるように支援する。 ・関係機関へと連絡を取り合い、研修や会議等に積極的に参加する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAおよび同窓会の活動が年間計画に沿い、円滑に実施できたか。 ・PTA実行委員や同窓会後援会役員と連携を取って、活動内容を工夫したり、取り組んだりすることができたか。活動の情報の発信ができたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA実行委員と連携を取り、活動を進めることができた。講演会は進路講演会を開催した。対面での開催としたが、希望もあってオンラインや限定YouTube配信も行った。多くの方に参加してもらえたのではないかな。 ・昨年度のアンケートにより要望が多かった先輩保護者の話を聞く会を企画した。 ・学校行事（ゆめフェスタ）でのイベントを企画した。当日に向けて、実行委員だけでなく、学年委員にも協力してもらうことができた。また、全校保護者に向けて協力を呼びかけることができた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「同窓会・20才を祝う会」を同窓会役員、同窓会後援会役員と協力して開催することができた。当日についても役員会で検討し、当日も役員と協力してレクなど行うことができた。
評価の視点	評価
①PTA実行委員との連携を密にして、計画した活動を円滑に実施できたか。	A (B) C D
②PTA活動や同窓会活動の情報を発信することができたか。	A (B) C D
③同窓会役員、同窓会後援会役員と連携を取り、同窓会活動を円滑に進めることができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ○PTA実行委員と活動内容や運営方法等の打ち合わせをし、協力して1年間進めていくことができた。 ○学校行事でイベントを計画し、実行委員、学年委員また、役員以外の保護者にも協力してもらい、進めることができた。 ○PTAや、同窓会の活動内容や、PTA実行委員、学年委員が参加した研修会などの情報を通信やホームページで発信することができた。 ▲実行委員以外の学年委員や、それ以外の保護者にも多く参加してもらえる機会が少ない。 	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの活動は会長等実行委員主体ではあるが、さらに学年委員や保護者全員が参加でき、参加しやすいような活動を考えていく。 ・コロナ禍で行ってきた活動を見直し、活動の周知を進める。 ・同窓会役員、後援会役員募集時に仕事内容を具体的に伝え、参加しやすいようにする。 ・同窓会役員、後援会役員との連携をより密に取り、活動内容、進め方を一緒に考えていく。

学校関係者評価 (令和6年2月27日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに事業所一覧が掲載されているので、ご家族の方々が参考にされていると思う。PTAとの連携、Youtube 配信なども大変良い。ゆめフェスタはコロナ禍を経て、久しぶりの取組みとなり、楽しいものであった。 ・小中学校のPTA活動と比較すると、本校においては、保護者が行う仕事を先生方によくやってもらっている。保護者、学校、地域が連携してよい学校になるとよい。
